

所属 心理学部		職名 准教授	氏名 蒲谷 楨介	学位 修士（教育学）	兼任している研究科 無し	
研究分野 心理学			研究分野のキーワード 社会性の発達、アタッチメント			
学歴						
2010年03月	首都大学東京 都市教養学部 人文・社会系 心理学分野 卒業					
2012年03月	東京大学大学院 教育学研究科 教育心理学コース修士課程 修了					
2015年03月	東京大学大学院 教育学研究科 教育心理学コース博士課程 単位取得退学					
職歴						
2013年04月	日本学術振興会 特別研究員（DC2）					
2015年04月	愛知淑徳大学 心理学部 心理学科 講師					
2019年04月	愛知淑徳大学 心理学部 心理学科 准教授					
研究活動						
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称		単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)						
情動発達の理論と支援		分担執筆（共著）	2021年06月	金子書房	[編著] 遠藤 利彦	70頁～81頁
人間の発達とアタッチメント——逆境的環境における出生から成人までの30年にわたるミネソタ長期研究——		分担執筆（翻訳）	2022年02月	誠信書房	[監訳] 数井みゆき / 工藤晋平	75頁～99頁
はじめての発達心理学——発達理解への第一歩——		分担執筆	2022年03月	ナカニシヤ出版	[編] 古見 文一・西尾 祐美子	23頁～33頁
発達170 非認知能力の発達と保育・教育		分担執筆	2022年05月	ミネルヴァ書房	[編] 遠藤 利彦	27頁～33頁
児童心理学・発達科学ハンドブック【第3巻】 社会情動の過程 上・下		分担執筆（翻訳）	2022年09月	福村出版	二宮克美（監訳）	409頁～462頁
臨床心理学中事典		分担執筆	2022年12月	遠見書房	[監修] 野島一彦 [編集] 森岡正芳・岡村達也・坂井誠・黒木俊秀・津川律子・遠藤利彦・岩壁茂	76頁～77頁，90頁～91頁，115頁～116頁，284頁～285頁
臨床心理学スタンダードテキスト		分担執筆（共著）	2023年02月	金剛出版	[編] 岩壁 茂・遠藤 利彦・黒木俊秀・中嶋 義文・中村 知靖・橋本和明・増沢 高・村瀬 嘉代子	408頁～416頁
発達心理学の基礎と支援——生涯発達・発達障害・発達臨床の理解——		分担執筆	2025年04月	八千代出版		45頁～64頁
学術論文						
調律の諸相——理論・実証・実践をめぐる近年の動向——		単著	2022年03月	日本赤ちゃん学会 ベビーサイエンス 21		22頁～31頁，35頁～39頁
愛知淑徳大学心理学部データベースの作成		共著	2023年03月	愛知淑徳大学 愛知淑徳大学論集 心理学部篇 13	松尾 貴司・蒲谷 楨介・平島 太郎・丹藤 克也・吉崎 一人	35頁～49頁
くすぐりに発達上の要衝を観る——色彩豊かなリトマス紙として——		単著	2024年03月	日本赤ちゃん学会 ベビーサイエンス 23		56頁～56頁
観察法を用いてきた発達心理学者はどのようにコロナ禍を凌いだのか		共著	2024年06月	心理学評論 67 1	岸本建・蒲谷楨介・佐藤鮎美	50頁～70頁
Contrasting one's share of the shared life space: Comparing the roles of metacognition and inhibitory control in the development of theory of mind among Scottish and Japanese children		共著	2024年09月	Developmental Science 27 5	Mariel Symeonidou, Ai Mizokawa, Shinsuke Kabaya, Martin J. Doherty, Josephine Ross	共同研究につき本人担当部分抽出不可能

養育者の感情発達観と我が子のネガティブ感情表出に対する対応	共著	2025年03月	日本感情心理学会 感情心理学研究 32 2	溝川藍・蒲谷慎介	41頁～48頁
学会発表					
音楽性の揺籃としてのアタッチメント（シンポジウム話題提供）	単独発表	2021年06月	日本赤ちゃん学会第21回学術集会(慶應義塾大学（オンライン）)		
乳児のカメラ目線および情動表出の有無が乳児への内的状態帰属のしやすさに及ぼす影響	単独発表	2021年09月	日本心理学会第85回大会(オンライン開催)		
中動態で紡ぐ発達のオルタナティブ・ストーリー（シンポジウム企画・司会進行）	共同発表	2022年03月	日本発達心理学会第33回大会(Web開催)		
タウGガイドンス分析による乳児の生気情動の質的評価——乳児に対する心的帰属のしやすさとタウ統計量の関連性——	単独発表	2022年09月	日本心理学会第86回大会(日本大学文理学部 + Web（ハイブリッド開催）)		
養育者の感情発達観と我が子のネガティブ感情への対応——子どもの性別による違い——	共同発表	2023年03月	日本発達心理学会第34回大会(立命館大学大阪いばらきキャンパス)		
母親による調律的応答が育む幼児期の向社会的性——親の苦痛表出に対する子の行動の組織化——	単独発表	2023年08月	日本赤ちゃん学会第23回学術集会(千里ライフサイエンスセンター)		
行動連鎖の非対称性にみる生後20か月児の調律的行動——母親による非調律的応答と対象児の「恐れやすさ」気質の組み合わせ効果——	単独発表	2024年03月	日本発達心理学会第35回大会(大阪国際交流センター)		
子の「表現する主体」に大人はいかに感応するか	単独発表	2024年08月	日本赤ちゃん学会第24回学術集会(東京大学)		
非養育者によるVR乳児ビデオクリップへの身体動作同調	単独発表	2024年08月	日本赤ちゃん学会第24回学術集会(東京大学)		
Communicative Musicalityの深淵をのぞく	単独発表	2025年03月	日本発達心理学会第36回大会(明星大学)		
乳幼児観察研究における再現（可能）性問題	単独発表	2025年03月	日本発達心理学会第36回大会(明星大学)		
玩具片付け場面で観察される乳児の協力および抵抗の規定因——月齢・出生順・親自身のアタッチメント不安の効果——	単独発表	2025年03月	日本発達心理学会第36回大会(明星大学)		
親子のあいだを流れるリズム——「リトルネロ」の視点から——	単独発表	2026年03月	日本発達心理学会第37回大会(福岡国際会議場)		
母親のアタッチメントスタイルと幼児の情緒・行動上の困難——実情の反映か、あるいは主観的なバイアスか——	単独発表	2026年03月	日本発達心理学会第37回大会(福岡国際会議場)		
親子間の生けるリズムに関する試論	単独発表	2026年06月	日本赤ちゃん学会第26回学術集会ブレコングレス(アオーレ長岡)		
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
2012年	平成24年度発達科学研究教育奨励賞（発達科学研究教育センター）				
2015年	平成26年度学術大会優秀発表賞（日本心理学会）				

2015年	第24回発達心理学研究学会賞（日本発達心理学会）		
所属学会			
2010年04月～現在	日本発達心理学会	2017年02月～2018年12月 ニュースレター委員会 副委員長 2020年12月～2022年12月 国内研究交流委員会	
2010年04月～現在	日本教育心理学会		
2012年04月～現在	日本心理学会		
2015年05月～現在	日本家族心理学会		
2024年04月～現在	日本行動計量学会		
2024年09月～現在	日本赤ちゃん学会	2025年08月～現在	評議員
社会活動			
2019年04月01日～ 2024年03月31日	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（若手研究））研究課題番号：19K14397 「親の子どもへの身体的同調性と調律的応答の関連性の検討」		
2023年07月29日	令和5年度郡山市中央図書館レクチャーコンサート「こども・お母さん・音楽」の来場者用パンフレットに寄稿した（タイトル：「最初のテンポはこれくらいで」）。		
2024年04月01日～ 2028年03月31日	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究（C）） 研究課題番号：24K06486「行動連鎖における非対称性から観る乳幼児の向社会性発達」		
教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			
「社会性の発達」の授業の進め方と評価方法の工夫	2015年04月01日～現在	毎回の授業時にMicrosoft Teamsを通じたコメントペーパーの提出を求め、講義内容に関する質問を書けるようにした。主要な質問には次回の授業冒頭で回答し、学生が理解を深められるようにした。授業時に講義内容に関連した論述課題を課し、Microsoft Teamsを用いて個別に採点結果をフィードバックするとともに、採点のポイントを解説することで、各学生が自身の理解度を把握できるようにした。定期試験に向けた準備を促すため、授業最終週に希望者に対して平常点のフィードバックを行った。	
「心理学研究法観察演習」における授業の進め方と課題の工夫	2015年04月01日～現在	学生による研究成果発表時に、パワーポイントを用いたプレゼンテーションの見本を示した。また、学生が他の授業で身に付けた統計解析の知識を活かせるように基礎課題の内容を再検討し、学生がより柔軟な研究手法を身につけられるようにした。	
「発達心理学概論」の授業の進め方と評価方法の工夫	2015年09月01日～現在	毎回の授業時にMicrosoft Teamsを通じたコメントペーパーの提出を求め、講義内容に関する質問を書けるようにした。主要な質問には次回の授業冒頭で回答し、学生が理解を深められるようにした。授業の最後に内容確認クイズを出題し、次回の冒頭で解説を行うことで、学生が各回の内容を効率的に復習できるようにした。定期試験に向けた準備を促すため、授業最終週に希望者に対して平常点のフィードバックを行った。	
「心理学研究法概論」の授業の進め方の工夫	2015年09月01日～現在	毎回の授業時にMicrosoft Teamsを通じてコメントペーパーの提出を求め、講義内容に関する質問を書けるようにした。主要な質問には次回の授業冒頭で回答し、学生が理解を深められるようにした。観察法のパートを担当し、動画を用いたワークを複数導入することで、学生が各種観察手法を体感できるようにした。	
2 作成した教科書、教材、参考書			
心理学実験Ia 課題1「ミュラー・リヤー錯視」教材の作成	2021年04月01日	心理学実験Iaの教育内容改革に伴い、従来のミュラー・リヤー錯視課題を大幅に刷新し、内容を拡充した。	
心理学実験Ib 課題6「面接法」教材の作成	2022年10月01日	心理学実験Ibの教育内容改革に伴い、従来の面接法課題を大幅に刷新し、内容を拡充した。	
心理学実験Ib 課題5「面接法」教材の作成	2025年09月19日～現在	これまで90分×3回の授業で面接法を体験させる内容であったが、授業回数を90分×4回とした上で、グループ内でより協同的に探索的分析を実施できるよう取り組み内容を改訂した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特記すべき事項			
5 大学運営			
心理学部教務委員（学部担当）	2020年04月～2021年11月		

基幹科目運営委員会	2020年04月 ~ 2021年11月	
教養教育委員会	2020年04月 ~ 2021年11月	
心理学部教務委員長	2022年04月 ~ 2024年03月	
情報教育センター運営委員	2022年04月 ~ 2024年03月	
教職課程委員会	2022年04月 ~ 2024年03月	
学生生活委員会	2026年04月 ~ 現在	
V 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		